

25-31

SDGs 達成への貢献

2025 年 4 月 28 日

「グリーンボンド」を発行します

環境問題の解決に資する鉄道事業施策に調達資金を充当

東京地下鉄株式会社(本社:東京都台東区、代表取締役社長:山村 明義、以下「東京メトロ」)は、グループ全体で気候変動の緩和や資源循環に向けた取組みを一層推進するために、2024 年 3 月に続き 2 回目となる「グリーンボンド」を 2025 年 5 月に発行する予定です。

東京メトロは、主要事業である鉄道事業が多くの電力を消費するという特性を有することから、マテリアリティ(重要課題)の 1 つに「脱炭素・循環型社会の実現」を掲げ、気候変動問題に関する取組みを強化しています。先端技術や再生可能エネルギーの活用による CO₂ 排出量の削減などの取組みによって、鉄道をより一層環境にやさしい交通手段にしていくとともに、安全・安定輸送の確保、利便性の向上により、公共交通の利用促進に努め、環境問題の解決に貢献してまいります。

グリーンボンド発行は、東京メトログループのマテリアリティに関連する取組みをステークホルダーの皆様により一層認知していただくとともに、調達資金を環境問題の解決に資する施策に充当することで、ステークホルダーの皆様とともに SDGs の達成に貢献することを目的としています。

詳細は別紙のとおりです。

本グリーンボンドの充当予定プロジェクト	
ICMA GBP カテゴリー※1	クリーン輸送
適格クライテリア※2	● 新型車両導入、車両改造・更新 ● 線路(トンネル含む)整備・改良・更新 ● 運行関連電気設備(システム含む)の整備・改良・更新 ● 駅舎の新設・移設・改良(駅ホーム及び鉄道運行関連施設のバリアフリー化を含む安全性向上)
SDGs	   
主な事業例 ● レール交換 ● 半蔵門線 18000 系の新型車両導入 ● 信号設備改良(CBTC 化)、変電所及び電気室の改良・更新 ● 南砂町駅改良、渋谷駅移設  線路及びホームの増設(2 面 3 線化)	

※1 国際資本市場協会(ICMA)が発行するグリーンボンド原則(GBP)2021 に定めるカテゴリー。

※2 適格クライテリアとは、グリーンボンドの充当プロジェクトを選定する際に当該プロジェクトのグリーン適格性を当社が判断するために設定した要件です。

1 発行概要

社債名称	東京地下鉄株式会社第 63 回社債(一般担保付) (グリーンボンド)
発行総額	100 億円(予定)
年限	未定
発行時期	2025 年 5 月(予定)
主幹事証券会社	SMBC 日興証券株式会社、野村證券株式会社、三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社

その他詳細は、決定後にプレスリリース等にてお知らせいたします。

2 グリーンボンド・フレームワーク

本フレームワークは、国際資本市場協会(ICMA)の定めるグリーンボンド原則(GBP)2021、環境省の定めるグリーンボンドガイドライン 2022 年版に基づき策定しております。フレームワークで設定したグリーンプロジェクトの適格クライテリアは以下のとおりです。

■グリーンボンド・フレームワーク

https://www.tokyometro.jp/corporate/ir/stock/sustainable_finance/pdf/information_20250428_01.pdf

ICMA GBP カテゴリー	適格クライテリア	環境面での便益
クリーン輸送	営業路線における鉄道運行の円滑化による利便性 拡大に向けた設備投資 ● 新型車両導入、車両改造・更新 ● 線路(トンネル含む)整備・改良・更新 ● 運行関連電気設備(システム含む)の整備・改良・更新 ● 駅舎の新設・移設・改良(駅ホーム及び鉄道運行関連施設のバリアフリー化を含む安全性向上) ● 総合指令所の整備及び車両基地等の技術区整備	環境負荷の少ない地下鉄の利用促進による CO ₂ 排出量削減
気候変動への適応	大規模水害等を起因とする鉄道運行関連の施設及び設備の浸水対策 ● 駅舎出入口、坑口(トンネルの入口部分)、地上駅、変電所等	都市型水害・大規模水害による被害軽減(出入口、トンネル等からの浸水被害軽減、利用者の安全確保、早期運行再開等)
エネルギー効率	駅構内及び当社関連施設における以下の設備投資 ● 照明の LED 化 ● 省エネ効果向上を見込む空調設備導入・更新	省エネ効率が向上する機器導入による CO ₂ 排出量削減
再生可能エネルギー	● 太陽光発電・風力発電に係る設備投資(運営・保守・更新含む) ● 再生可能エネルギーの調達等	再生可能エネルギー由来の電力利用による CO ₂ 排出量削減

グリーン ビルディング/エネ ルギー効率	以下 A 又は B に該当する建物の建設、取得又は改修 A) 債券の発行日から遡って 36 ヶ月以内に以下いずれかの認証を取得・更新した建物 B) 今後以下いずれかの認証を取得・更新する予定の建物 ● LEED^{※3}: PLATINUM/GOLD/SILVER ● BREEAM^{※4}: outstanding/excellent/very good ● CASBEE^{※5}: S/A ● DBJ Green Building 認証^{※6}: 5 つ星/4 つ星/3 つ星 ● BELS^{※7}: 5 つ星 ● ZEB/ZEH/ZEH-M(nearly, ready, oriented を含む)^{※8}	環境性能が高い建築物の利用・提供による CO ₂ 排出量削減をはじめとした環境負荷低減
----------------------------	---	--

※3 Leadership in Energy and Environmental Design の略称。環境配慮された優れた建築物を作るため先導的な取り組みを評価するグリーンビルディングの国際的な認証プログラム(環境性能評価認証システム)。

※4 イギリスの BRE(Building Research Establishment)が策定し運用する建物の環境性能を評価するシステム“Environmental Assessment Method (EAM)”の略称。建築物の持続可能性を評価する国際的に認知された評価制度です。

※5 建築環境総合性能評価システムと呼ばれる建築物の環境性能の評価・格付制度。省エネルギーや環境負荷の少ない資機材の使用といった環境配慮はもとより、室内の快適性や景観への配慮なども含めた建物の品質を総合的に評価するシステム。

※6 「環境・社会への配慮」がなされた不動産とその不動産を所有・運営する事業者を支援する取り組みとして、日本政策投資銀行により創設された認証制度。

※7 Building-Housing Energy-efficiency Labeling System の略称。建築物の省エネ性能(燃費)について、評価・認定する制度。

※8 快適な室内環境を実現しながら、効率の良い設備システムの導入や自然エネルギーの利用により、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物。事務所、ホテル、店舗等を対象としたものを「ZEB(ゼブ: Net Zero Energy Building)」、住宅を対象としたものを「ZEH(ゼッチ: Net Zero Energy House)」、住宅のうち、マンションを対象としたものを「ZEH-M(ゼッチマンション: Net Zero Energy House Mansion)」と呼びます。

3 第三者評価(セカンドオピニオン)の取得

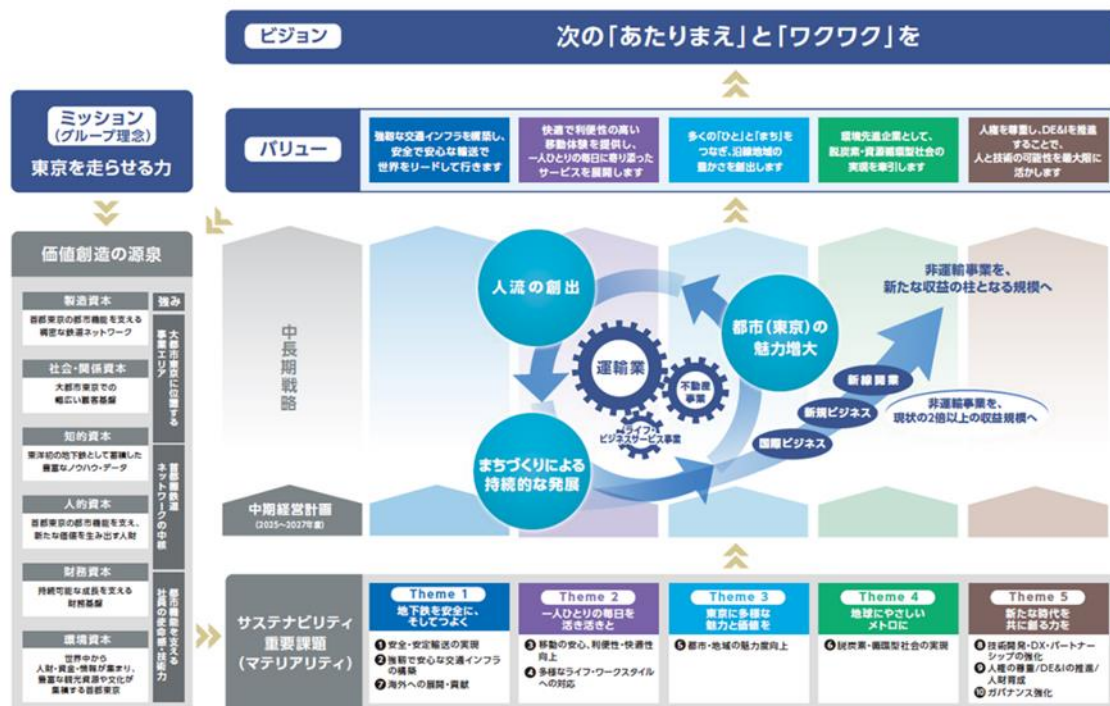
本フレームワークの原則等への適合性については、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター(R&I)よりセカンドオピニオンを取得しています。

■第三者評価(セカンドオピニオン)

https://www.tokyometro.jp/corporate/ir/stock/sustainable_finance/pdf/information_20250428_02.pdf

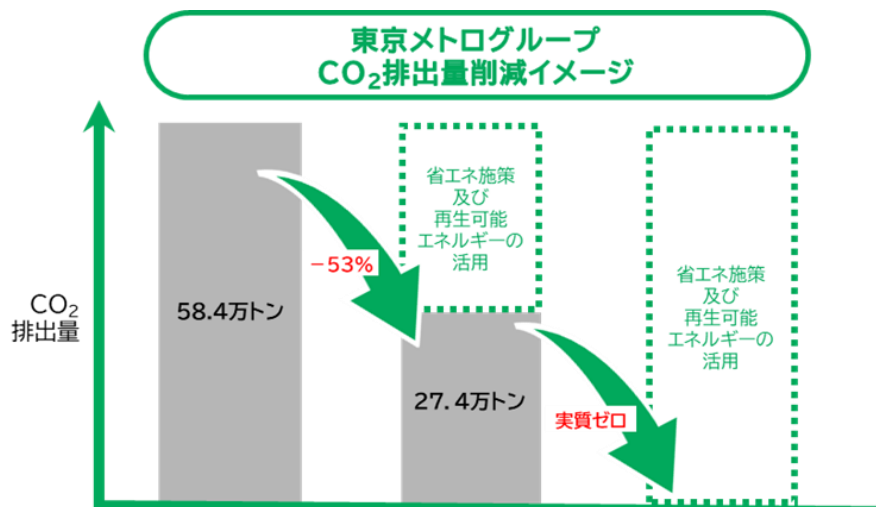
《参考》 東京メトログループの価値創造プロセス

中期経営計画「Run! ～次代を翔けろ～」において、事業活動を通じて、サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）の解決から創造されるバリューを提供し、『次の「あたりまえ」と「ワクワク」を』というビジョンの実現を目指します。



《参考》 東京メトログループ長期環境目標「メトロ CO₂ ゼロ チャレンジ 2050」

当社グループでは、長期環境目標「メトロCO₂ ゼロ チャレンジ 2050」において、「2050年度 実質ゼロ」の目標を設定しました。2024年度においては、更なる高みを目指し、2030年度目標を当初目標の△50%から△53%(ともに2013年度比)に引き上げました。当社グループのCO₂排出量は、ほとんどが電力由来です。長期環境目標達成に向け、電力由来のCO₂排出量は、これまで続けてきた省エネを更に推進するとともに再生可能エネルギーへ大規模な転換を進めることで削減する方針です。また、電力以外のその他燃料からのCO₂排出量は、クレジット等の活用でオフセットする方針です。取組みを推進するにあたり2024年度4月より、インターナルカーボンプライシングを導入しています。



これらの取組みの詳細は、ホームページからご覧ください。

URL: <https://www.tokyo-metro.jp/corporate/csr/index.html>